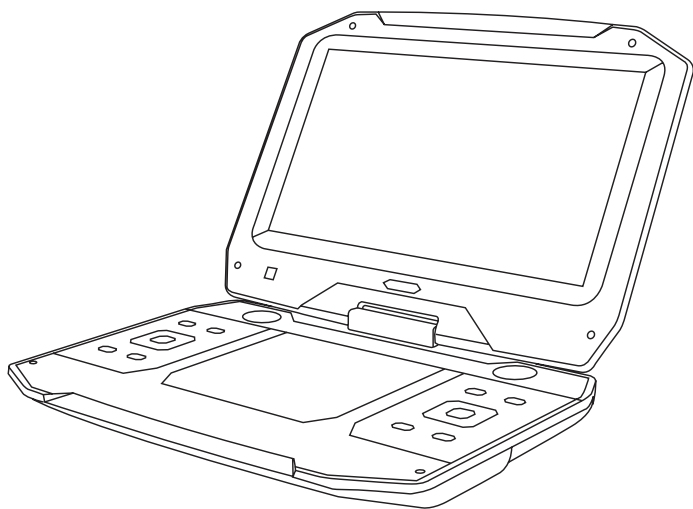


S-cubism

取扱説明書・保証書

13.3インチ
ポータブルブルーレイプレーヤー

BDP-1331B



はじめに	P.3
本製品でできること	P.14
準備する	P.18
再生する	P.24
設定を変更する	P.37
困った時は	P.43
製品仕様	P.47
保証書	P.50
お問い合わせ	巻末

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・「取扱説明書」(本書)をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・本書には「保証書」が含まれております。大切に保管してください。
- ・ご使用される前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

家庭用

目次

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のお願い	11
付属品一覧	13

本製品でできること

本製品でできること	14
BD/DVD/CDの再生	14
外部メディアを再生する	14
他の機器に出力する	14
再生可能ディスク・メディア	15
再生可能ファイル	16
デジタル放送を録画した ディスク	16
ディスク・メディアの取り扱い	16

準備する

各部の名称	18
プレーヤー本体	18
リモコン	19
リモコンについて	20
リモコンを使う	20
リモコン操作の注意	20
ディスプレイの回転	21
電源の接続	22
主電源スイッチ	22
電源アダプターの接続	22
バッテリーの充電	22
外部機器との接続	23

AV機器への出力	23
AV機器への入力	23
HDMI機器への出力	23
イヤホンの使用	23

再生する

BD/DVDの再生	24
ディスクの挿入と再生	24
一時停止	24
停止	24
早送り・早戻し	25
前へ・次へ	25
メニュー画面へ移動	25
タイトルポップアップ	25
音量調節	25
消音	25
字幕の切り替え	25
音声の切り替え	25
アングル切り替え	26
繰り返し再生	26
ズーム	26
画面ON/OFF	26
サーチ	26
ブックマーク	26
再生情報の表示	27
OSC(オンスクリーンコントロール)	27
録画したディスクを再生する	28

BD-LIVE	29
BD-LIVEについて	29
BD-LIVEの準備	29
BD-LIVEを使った インターネットアクセス	30
CDの再生	31
トラック番号を指定して再生	31
繰り返し再生	31
外部メディアの再生	32
再生可能ファイル	32
外部メディア再生	32
画像再生でできる操作	33
音楽再生でできる操作	34
動画再生でできる操作	34
再生リストの作成	35
USBメモリー、SDカードの取り外し	36

設定を変更する

基本設定	37
システム	38
言語	38
再生	39
視聴制限	39
ネットワーク	39
映像設定	41
映像	41
映像処理	42
音声設定	42
音声出力	42
システム情報	42

困った時は	43
製品仕様	47
商標について	48
保証規定	49
保証書	50
お問い合わせ	巻末

安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる方や周囲の人の危険と物的損害を未然に防ぐために、重要な事項を記載しています。

本製品をお使いの前に、次の内容をよく理解して本文をお読みください。



危険

この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。



警告

この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。



注意

この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、傷害または物的損害が発生する危険性があることを示します。



禁止事項を示します

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文書で示します。



指示事項を示します

具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文書で示します。



注意事項を示します

具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文書で示します。



危険



禁止

バッテリーパックは付属または指定のバッテリーパックを使用する
また、バッテリーパックは本製品に使用する

- バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。



禁止

バッテリーパックを水や汗・海水などで濡らさない

- バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。



禁止

バッテリーパックを金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり保管しない

- バッテリーパックがショート状態となり、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 危険



禁止

バッテリーパックの端子を針金などの金属で接続しない

- バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。



禁止

バッテリーパックを落としたり強い衝撃を与えない

- バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。



禁止

バッテリーパックを火の中に入れたり、加熱しない

- バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。なお、水に濡れた場合でも加熱用機器などで強制的に乾燥させないでください。



禁止

バッテリーパックを分解・改造・修理しない

- バッテリーパックでの火災・感電の原因となります。



禁止

バッテリーパック内部から出た液体が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、眼科の医師の治療を受ける

- そのままにしておくと、目に障害を与える原因となります。

⚠ 警告



電源プラグ
を抜く

故障の発生や異常が感じられるときはすぐに使用を中止する

- 煙が出ていたり、変なおいがするとき。
 - 本体の内部に水や異物が入ったとき。
 - 落としたり、外装が破損したとき。
- ⇒すぐに電源プラグを抜き、煙が出なくなるのを確認してから、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。



分解禁止

修理・分解・改造はしない

- 火災や感電の原因になります。
- ⇒修理や点検は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。



禁止

同梱された付属品以外を製品と組み合わせて使用しない

- 火災・感電・故障の原因になります。
- ⇒コードやアダプターは同梱品を使用してください。

安全上のご注意(つづき)



警告



禁止

運転中に使用しない

- 交通事故の原因になります。
- 車両を停止させて使用してください。



禁止

下記場所での設置・使用はしない

- 火災・感電の原因になります。

1.湿度の高い場所・湿気の多い場所・ぬれた場所

⇒浴室・プールまたは加湿器の近くなどで使用しないでください。

2.温度の高い場所・温度変化の大きい場所

⇒直射日光が当たる場所、暖房・冷房の近く、調理器具の近くなどでの設置・使用はしないでください。

⇒車内に放置しないでください。

3.油煙やほこりの多い場所・熱のこもるような物の近く

⇒工場・作業場、また毛足の長いじゅうたんのの上などで使用しないでください。

4.電磁波や強い磁気を発する機器等の近く

⇒電子レンジや音響スピーカーの近くで使用しないでください。

5.閉めきった狭い空間

⇒棚の中など熱が籠もるような場所で使用しないでください。

⇒布などをかぶせて使用しないでください。



禁止

電源コードがねじれていたり、損傷したままでの使用はしない

- 火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを束ねたままでの使用はしない

- 火災や感電の原因になります。



禁止

タコ足配線はしない

- 火災や感電の原因になります。

⇒接続する前に、傷などがないか電源コード全体を点検してください。

⇒接続する前に、電源コードを伸ばして使用してください。

⇒電源コードに傷などがあつた場合は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

⇒電源コードを接続したあと、ねじれている箇所はないか、イスの足などがのっていないか確認してください。

⇒配線・配電は、容量に合ったものを使用してください。

安全上のご注意(つづき)



警告

はじめに



確認

電源プラグの周辺はきれいにして使用する

- 火災の原因になります。
⇒電源プラグとその周り・電源コンセントにほこりなどが付いていたら掃除してください。



禁止

水にぬらさない ぬれた手で触れない

- 火災や感電の原因になります。
⇒雨天時、降雪時、水辺での使用を避けてください。
⇒飲み物などにお気をつけください。
⇒お手入れにはよく絞った雑巾などで軽くふき、液体や霧状の洗浄剤は使用しないでください。



禁止

雷が発生しているときは、本体・電源コード・AV接続ケーブルに触れない

- 感電の原因になります。



禁止

本製品のレンズ部や通気孔などから内部にものを差し込まない

- 火災・感電の原因になります。
⇒ドライバー、クリップなどを差し込むのはおやめください。



確認

本製品ご使用の前に、本製品のリモコンで他製品が誤動作を起こさないことを確認する

- 火災の原因になります。
⇒とくに暖房装置などにご注意ください。



禁止

本製品の内部をのぞかない

- 視力障害の原因になるおそれがあります。
⇒本製品のピックアップレンズにはレーザーを使用しています。



確認

付属DCアダプターは12Vのマイナスアース車専用

- 車両電源に接続する前に、お車の仕様を確認してください。



禁止

電源コードを傷つけない

- 電源コードを加工したり、傷つけたり、重いものをのせたり、引っ張ったり、はさんだり、加熱しないでください。火災や感電の原因になります。

安全上のご注意(つづき)



警告



禁止

可燃性ガスエアゾールやスプレーを使用しない

- ・清掃や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



禁止

布団などでおおった状態で使わない

- ・熱がこもって、火災の原因となることがあります。



禁止

上にものを置かない

- ・故障の原因になります。



禁止

濡れたバッテリーパックを充電しない

- ・発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合は、ただちに本体の電源を切るか、バッテリーパックを外してください。



禁止

本体・バッテリーパックを直射日光の強いところや炎天下の車内など、バッテリーパックが高い温度になるところで使用・放置しない

- ・バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。



禁止

本体とバッテリーパックとの間に水などの液体・金属片・燃えやすいものなど、異物を入れない

- ・火災・感電・故障原因となります。



禁止

バッテリーパックを幼児の手の届く場所には置かない

- ・ケガなどの原因となります。また、幼児が誤って飲み込むと、窒息の恐れがあります。



禁止

引火ガスが発生する場所で使用しない

- ・ガスに引火し、火災の原因となります
- ・ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では本体の電源を切り、充電もしないでください。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意



変形・割れ・補修したディスクは使用しない

・ けが・故障の原因になります。



ひざの上に置いて使用しない

・ 低温やけど・けが・損傷の原因になります。



出入り口・通路などで使用しない

・ けが・損傷・故障の原因になります。



振動の多い場所・不安定な場所では使用しない

・ 故障の原因になります。



ディスプレイを長時間連続して見ない

・ 視力低下の原因になります。



ディスプレイを強く押したり、衝撃を与えない

・ 破損するとけがや故障の原因となることがあります。



ディスプレイが割れた場合、内部の液体には触れない

⇒口に入った場合は、できるかぎり吐き出し、水で口とのどをよくすすぎ、医師の診察を受けてください。

⇒目に入った場合は、水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。

⇒皮膚や衣服に付いた場合は、アルコールでふき取り、水洗いしてください。



アダプターを抜くときは、アダプター本体を持って抜く

電源プラグ
を抜く

・ コードを持って抜くと損傷し、火災や感電の原因になります。



本製品を使用しない場合は、電源からACアダプターまたはDCアダプターを抜いておく

電源プラグ
を抜く

・ 天災(落雷など)やほこりなどが原因のトラッキングなどにより火災や感電の原因となることがあります。

安全上のご注意(つづき)

注意



持ち運ぶときは次のことを守る

- ⇒電源や他の接続をすべて取り外してください。
- ⇒ディスク、外部メディアをすべて取り外してください。
- ⇒過度の衝撃や振動を与えないでください。



ご使用の際は、音量を小さくしてから再生をする

- ・突然大きな音声が出ると聴覚障害の原因になる場合があります。



イヤホンを使用するときは音量に気をつける

- ・大きな音で長時間聴きつづけると、聴覚障害の原因になる場合があります。



バッテリーパックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用・放置しない

- ・バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる

- ・バッテリーパックが発熱・破裂・発火する可能性があります。



バッテリーパックの周りにコップや花瓶など、液体の入った容器を置かない

- ・液体がこぼれて濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。



バッテリーパックを屋外や浴室など、水がかかる場所に置かない

- ・濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。



本体・バッテリーパック・ACアダプターに発煙・異臭などの異常が発生したり、破損した時は、すぐに次の作業を行う

- 1.使用中(充電中を含む)であれば、ACアダプターを家庭用交流100Vコンセントから抜いてください。
- 2.冷えた事を確認し、本体の電源を切り、バッテリーパックを取り外してください。そのまま使用(充電)すると、バッテリーパックが発熱・破裂・発火したり、本体が発熱する原因となります。



汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れない

- ・発熱による低温やけど・故障の原因となる場合があります。

安全上のご注意(つづき)



注意

はじめに



禁止

付属ACアダプター、DCアダプターを他の製品に使用しない

- 火災や感電の原因になります。



禁止

回転中のディスクには触れない

- ディスクカバーを開けたとき、ディスクが回転している場合があります。回転しているディスクにさわると、けがや故障の原因となります。



確認

ACアダプターはコンセントの近くで使用する

- 万一異常があったときに、抜きやすくなります。



確認

リモコンを長期間使用しないときは、リモコン用電池を取りはずす

- 液漏れによりけがややけどの原因となります。



確認

リモコン用電池は極性(+)と(-)の向きを正しく入れる

- 逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。



禁止

リモコンの電池フタを開けて使用しない

- リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

使用上のお願い

- 本製品にあいている放熱用の通気孔をふさがないでください。
- 本製品の使用中に、近くにあるテレビ・ラジオ・ビデオ等の機器に、画像や音声の乱れなどの悪影響が出ることがあります。その場合は離してご使用ください。
- 殺虫剤や整髪料、その他揮発性の溶剤などをかけないでください。お手入れの場合も、アルコール・シンナー・ベンジン等の溶剤は使用しないでください。
- ゴム製品やビニール製品を長時間接触させないでください。
- 長時間ご使用になると本体が熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、本体電源をOFFにし、ディスク・メモリーカード・USBメモリーを取り外しておいてください。
- 本製品に磁気カード(クレジットカード等)を近づけないでください。磁気カードが使用できなくなるおそれがあります。
- ディスクカバーの中にあるレンズなどには、触れたり、清掃をしったりしないでください。クリーニングディスクなども使用しないでください。故障の原因になります。
- 走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。故障の原因となります。
- 本機を長期間使わない場合、電池の劣化を防ぐため、半年から1年ごとに充電するようにしてください。
- 本製品はリチウム電池を内蔵しています。リチウム電池はリサイクルをしますので、廃棄する場合は、一般ごみとして廃棄せず、お住まいの地域の地方自治体の条例などに従って処分してください。
- リチウム電池を廃棄する場合は、(+)と(-)にそれぞれビニールテープなどをはってください。そのまま廃棄すると、ショートし、やけど・けがの原因となります。
- 本製品は日本国内専用です。海外などでは使用しないでください。

■ACアダプターについて

- ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。
- 濡れた手でACアダプターの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
- 本製品に付属しているACアダプターを使用してください。
- ACアダプターを使用しているとACアダプターは熱を持ちます。
持ち運ぶときはコンセントから抜いて、温度が下がってから持ち運んでください。
風通しの悪い場所で使用すると故障、事故の原因になりますのでご注意ください。

使用上のお願い(つづき)

■DCアダプターについて

- 仕様以外の使用環境でのご使用は、故障の原因になりますのでおやめください。
- 付属のDCアダプターから電力を供給する場合、エンジン始動時はDCアダプター(アクセサリーソケット側)を抜いておいてください。
- 付属のDCアダプターから電力を供給する場合、エンジン始動時およびエンジン回転数の上がり下がりによって電圧は変化します。本製品の電源回路に負荷がかかるのでアイドリング時の電圧の安定した状態でお使いください。

■液晶パネルの特長について

- 液晶パネルは構造上、非常に高精度な技術で作られており99.99%以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点(画素欠け)や周囲と異なる色が点灯したままの点(輝点)が存在する場合があります。これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると残像(画面焼けの様な症状)が出たり、液晶パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

■結露について

次のような場合には、本製品内部に水滴が生じる(結露する)可能性があります。

結露が生じたまま使用すると故障の原因になります。

- 冷たい場所にあった本製品を、暖かい場所に移動したとき。
- 室温が急に上がった、または下がったとき。
- エアコンなどの冷風が、直接本製品にあたっているとき。
- 湿度の高い場所で使用したとき。
- 結露は、本製品やディスクを傷める原因となります。結露がおきそうな場合は本製品をすぐに使用せず、2～3時間放置した後でご使用ください。

■免責事項に関するご注意

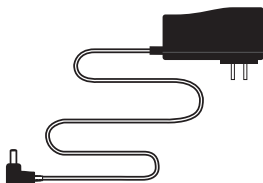
次のような場合、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- 自然災害、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故によって生じた損害。
- お客様の故意または過失、誤用、その他通常でない条件下で使用したことによって生じた損害。
- 取扱説明書に記載された内容を守らないことによって生じた損害。
- 取扱説明書に記載されていない接続機器、部品、メディア、ソフトウェアを使用したことによって生じた損害。
- 本製品の使用または使用不能によって生じた不利益または損害(事業利益の損失、事業の中断など)。

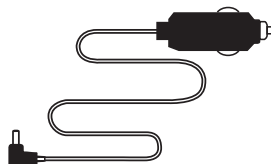
付属品一覧

本製品をご使用いただく前に、以下の内容物がすべてそろっていることをご確認ください。

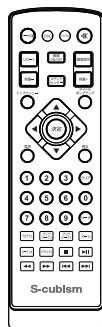
はじめに



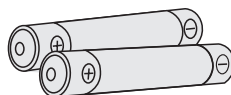
ACアダプター



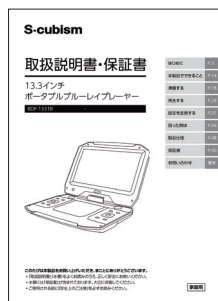
DCアダプター



リモコン



単4電池 2本(試供品)



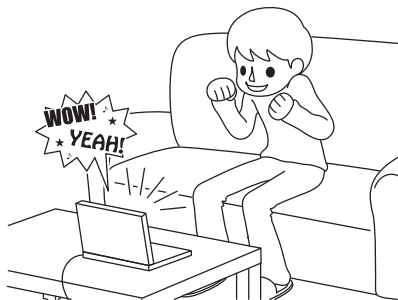
取扱説明書
(保証書付き)

本製品でできること

BD/DVD/CDの再生

BD・DVD・CDで、映画や音楽、写真が楽しめます。

本書24ページの
「BD/DVDの再生」をご覧ください。

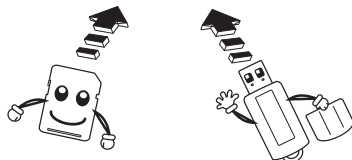
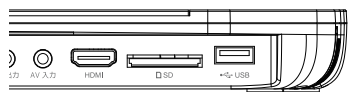


本製品でもできること

外部メディアを再生する

USBメモリーやSDメモリーカードなど外部メディア
の動画や音楽、写真が楽しめます。

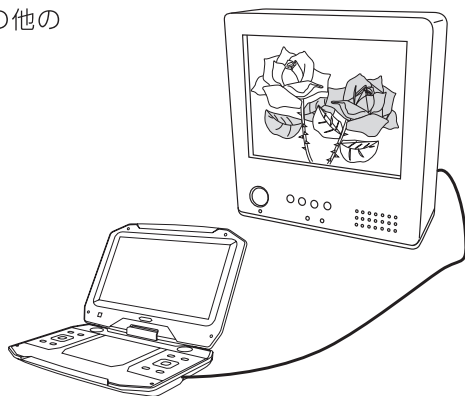
本書32ページの
「外部メディアの再生」をご覧ください。



他の機器に出力する

本製品で再生中の映像・音声をテレビなどの他の
AV機器に出力することができます。

本書23ページの
「外部機器との接続」をご覧ください。



再生可能ディスク・メディア

再生可能ディスク・メディア

本製品では、以下のディスク・メディアが再生できます。

ディスク・メディア名称	内容	サイズ
BD 	映画などの市販ソフト	12cm ^{※3}
BD-R/RE	地上デジタル放送などを録画したディスク	
DVDビデオ 	映画などの市販ソフト	
DVD±R/RW、CPRM ^{※1}	地上波デジタル放送などを録画したディスク	
音楽CD ^{※2}	音楽などの市販のソフト	
CD-R/RW	音楽CD形式のディスク、またはデータディスク	—
USBメモリー、SDカード	パソコンなどで保存した写真や音楽、動画ファイル	

※1 ファイナライズ処理をおこなわないと再生できません。詳しくはディスクに記録をおこなったDVD/CDレコーダーやパソコンの取扱説明書をご覧ください。

※2 コンパクトディスク(CD)規格に準拠していない、コピーコントロールCD(CCCD)などのディスクは、本製品で再生できない場合があります。

※3 音楽CDのみ、8cmサイズのディスクに対応しています。

- 上記のディスク・メディアであっても、本機との相性、データの作り方によっては再生できない場合があります。
- ブルーレイディスクは開発途上の新しいフォーマットです。すべてのディスクにおいて互換性が確認されていないことをご了承ください。
- 地上デジタル放送を録画したBD/DVDについては、相性により再生できない場合があります。
- 最新の映画BD/DVD等の市販ディスクについては、高度な処理を要求するものがあり一部再生できないものがありますのでご了承ください。
- 本製品はAVCHD規格に対応していますが、作成された全てのメディアでの動作は保証いたしかねます。
- VCD(ビデオCD):動画が収録されているCDの再生について、一部の製品においてデータやフォーマットが適合しないことで再生できないものがありますのでご了承ください。
- 最新の映画DVD等の市販ディスクでは高度な処理をDVD再生機器に要求するものがあり、本製品では一部再生できないものがありますのでご了承ください。

再生可能ディスク・メディア(つづき)

再生可能ファイル

本製品では、以下のファイルが再生できます。

ファイル形式	内容
MPEG4	動画+音声拡張子「.mp4」のファイルなど
AAC	音声
JPEG	画像

- 上記のファイルであっても、本製品との相性、データの作り方(画質や画像の大きさ、再生ビットレートなど)によっては再生できない場合があります。
- CD-R/RW、DVD±R/RW/±R DLディスクなどは信頼性の高い製品をご使用ください。粗悪なディスクを使用した場合は、再生が正常に行えない場合があります。
- パソコンでディスクを作成する場合には「DVDプレーヤーで使用する」という方法で記録してください。記録後にファイナライズを行わなければ本製品で使用できない場合があります。

デジタル放送を録画したディスク

デジタル放送を録画したディスクを再生するときは、次のことに注意してください。

- 再生開始の際にコピー制御による認証動作が必要のため、通常のディスクより読み込みに時間がかかります。故障ではありませんので、そのままお待ちください。
- デジタル放送を録画したディスク(CPRM方式)を本製品で再生させるには、必ず録画を行ったレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理の方法はレコーダーの説明書をお読みください。
- AVCHD、AVC Rec、HD Rec方式で録画されたディスクには対応していません。

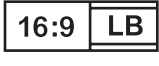
ディスク・メディアの取り扱い

ディスク、外部メディアの破損や機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- 変形しているディスク、割れていたりひびの入っているディスクを使用しないでください。
- シールやラベルが貼ってあるディスクを使用しないでください。
- ディスクに鉛筆やボールペンなどで書き込みをしないでください。
- ディスクをシンナー、ベンジン、アルコールなどで拭かないでください。
- ディスクやメディアの使用後はケースに収めてください。
- ディスクやメディアを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ディスクやメディアを直射日光の当たる場所や、高温になる場所に保管しないでください。

再生可能ディスク・メディア(つづき)

BD/DVDディスクやパッケージには、下表のようなマークが表示されています。

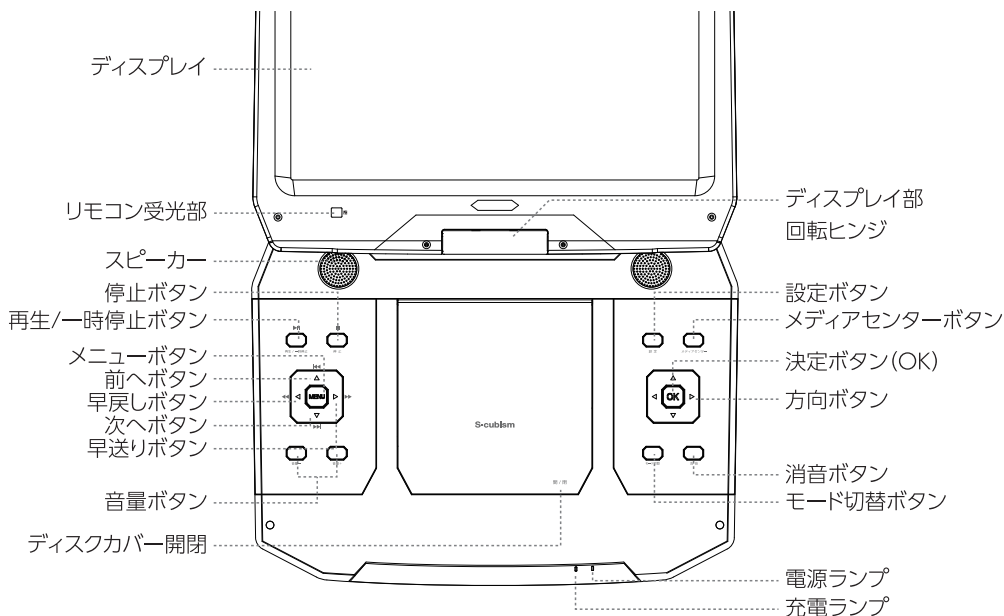
マーク	名称	意味
	リージョンコード	BDの再生可能地域を表しています。 本製品ではリージョンコードが「A」のディスクが再生可能です。
	リージョンコード	DVDの再生可能地域を表しています。 本製品ではリージョンコードが「2」のディスクが再生可能です。
	字幕	BD/DVDに収録されている字幕の数を表しています。リモコンの【字幕切り換え】ボタン、またはBD/DVDのメニュー画面で字幕を切り換えることができます。
	音声	BD/DVDに収録されている音声トラックの数 を表しています。リモコンの【音声切り換え】ボ タン、またはBD/DVDのメニュー画面で音声 を切り換えることができます。
	マルチアングル	BD/DVDに収録されているアングルの数 を表しています。複数のアングルが収録されて いる場面では、リモコンの【アングル】ボタンで アングルを切り換えることができます。
	画面アスペクト	BD/DVDに収録されている映像のアスペクト 比(画面の横と縦の比)を表しています。接続 するテレビの種類にあわせて設定することが できます。

リージョンコードについて

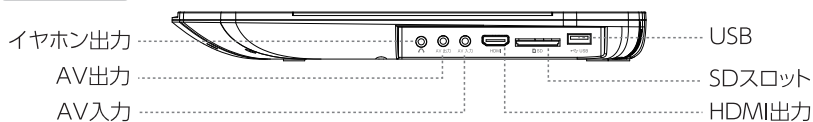
本製品はリージョンコードが「A」と表示されたBD、及び「2」と表示されたDVDに対応した再生機です。異なるリージョンコードが設定されたBD、及びDVDは再生することができません。各々のパッケージ裏面の記載をご確認ください。

各部の名称

プレーヤー本体



右側面



左側面



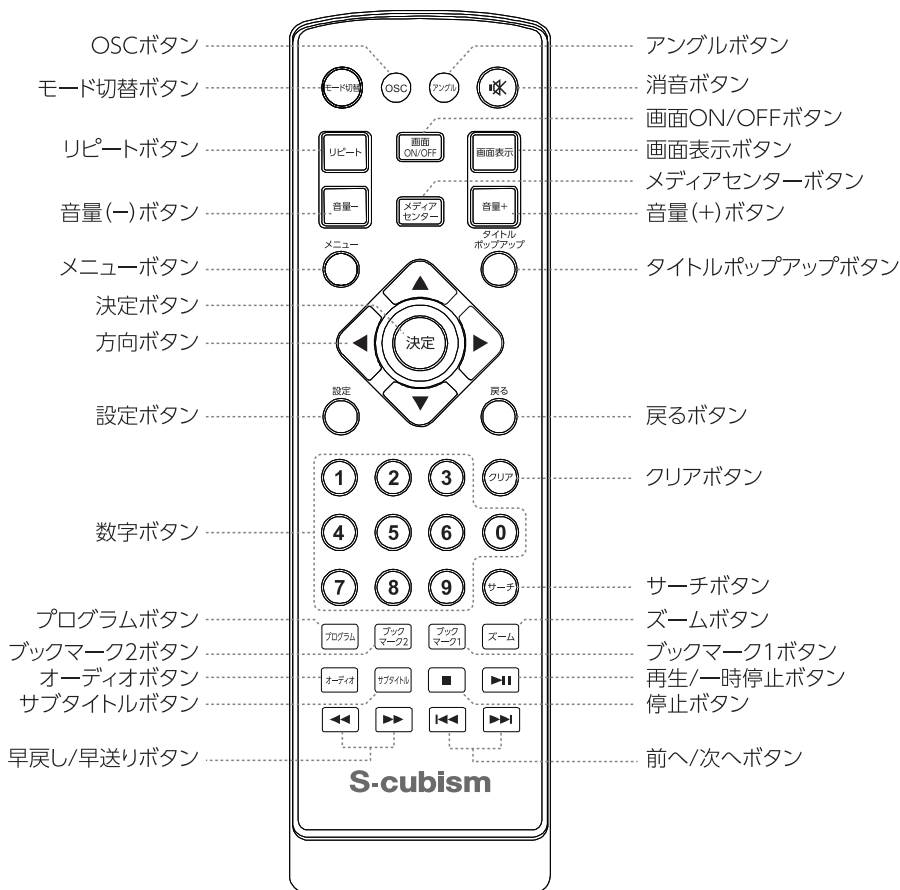
背面



準備する

各部の名称(つづき)

リモコン

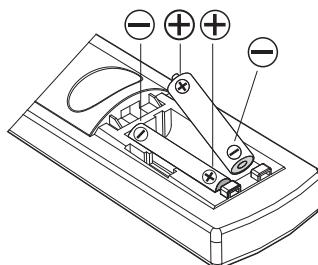


※リモコン操作による電源のON/OFFの操作はできません。電源のON/OFFは本体側面の主電源スイッチで操作してください。

リモコンについて

リモコンを使う

リモコン裏面のカバーを開けて、単四型乾電池2本を右図の通りに取り付け、カバーを閉めます。



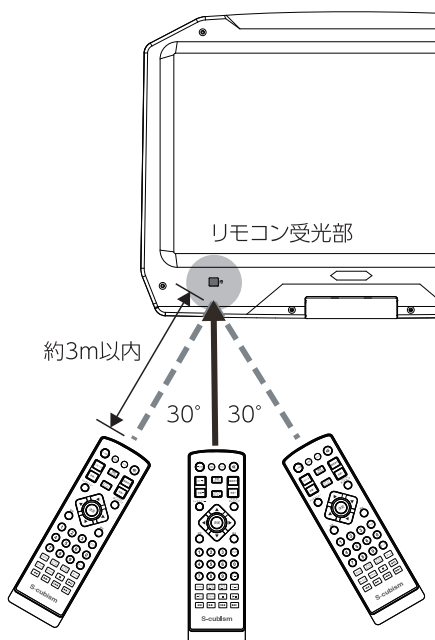
準備する

リモコン操作の注意

リモコンを使用する際は、本体受光部から約3m以内、上下左右各30度以内の範囲から操作するようにしてください。

リモコンの発信部とリモコン受光部の間に信号を遮るものがないようにしてください。

受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンが正常に作動しない場合があります。その場合は、光が当たらないようにする、リモコンの角度を変える、受光部に近づけて操作するなどしてください。

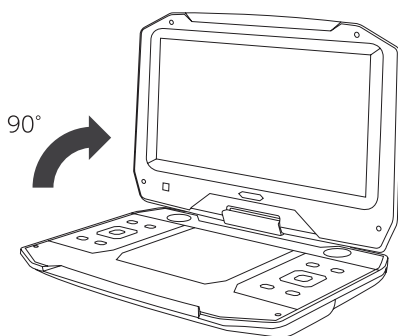


ディスプレイの回転

本製品はディスプレイを180°回転させる事ができます。

1 ディスプレイを開く

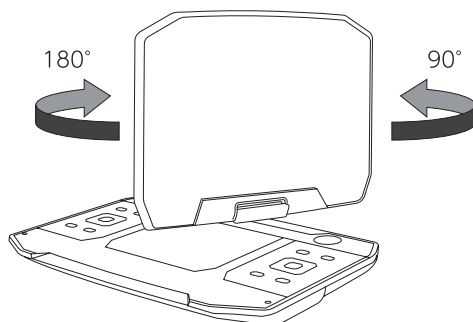
ディスプレイを90°起こします。



2 ディスプレイを回転させる

時計回りに180°回転できます。

反時計回りに90°回転できます。



ディスプレイの回転に関して

- ディスプレイを回転させる時は、無理な力をかけないように注意してください。
- ディスプレイは水平に回転させてください。傾けたり、折りたたんだ状態で回転させると本体に傷がつく場合があります。
- ディスプレイを回転させる場合は、本体を押さえ、指などを挟まないよう注意してください。

電源の接続

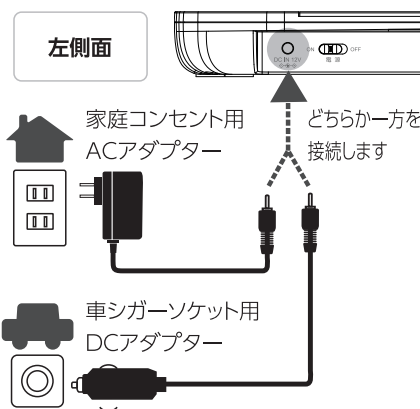
主電源スイッチ

本体左側面の主電源スイッチをスライドすることにより、電源のON/OFFを切り替えます。使用されない時は主電源スイッチを「OFF」にしてください。また、リモコン操作による電源のON/OFFの操作はできません。

使用電源	主電源ON ACアダプター DCアダプター 内臓バッテリー	主電源OFF
スイッチ の位置	電源 ON  OFF	電源 ON  OFF

電源アダプターの接続

- 1 本体左側面のDC入力12VにAC・DCアダプターを接続します。
- 2 本体左側面の主電源スイッチを「ON」にすると正面右手前部の電源ランプが青色に点灯します。

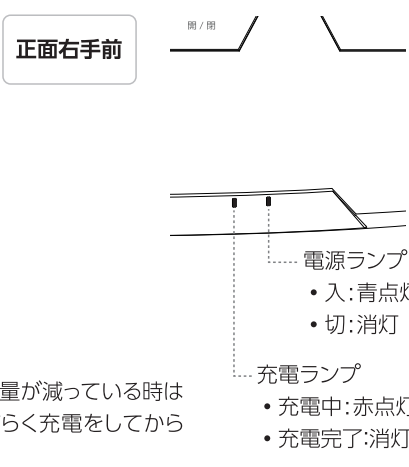


バッテリーの充電

電源アダプターを接続すると、自動的に内蔵バッテリーに充電されます。充電中は本体正面の充電LEDランプが赤色に「点灯」します。充電が終了すると充電LEDランプの赤色が「消灯」します。

- 充電時間: 約3時間
- 駆動時間: 約3時間

※充電、駆動時間は環境によって異なります。
※充電中も各種再生や視聴が可能です。極端にバッテリー残量が減っている時は再生動作が不安定になる場合がございます。その際はしばらく充電をしてからお使いください。



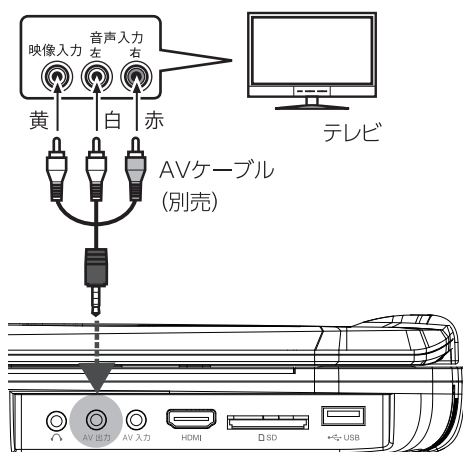
準備する

外部機器との接続

外部機器と接続した時の音量調整は、本製品側と合わせて接続機器でも行ってください。
本製品側の音量を0にするとAV機器への音声出力も0になりますのでご注意ください。

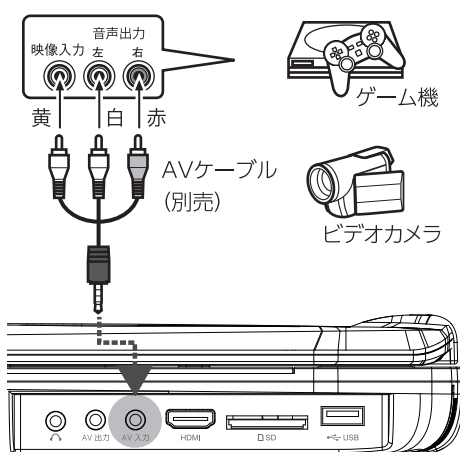
AV機器への出力

再生中の映像・音楽をテレビ等のAV機器へ出力します。



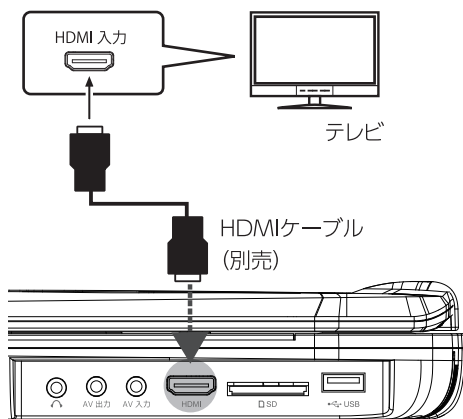
AV機器への入力

外部機器の映像を入力します。【モード切替】ボタンでAV機能に切り替えます。



HDMI機器への出力

再生中の映像・音楽をテレビ等のHDMI機器へ出力します。



イヤホンの使用

端子形状:直径3.5mmのミニステレオ端子、
端子長さ:約15mmの仕様となります。

イヤホン接続時にご注意頂きたいこと

- ※形状や長さが違うものを使用すると、音が聞こえなかったり故障や破損の原因になります。
- ※AVケーブル(別売)を誤って差し込まないように注意してください。
- ※イヤホンを接続すると本製品のスピーカーから音声が出られなくなります。
- ※使用するイヤホンやヘッドホンとの相性により正常な音声が聞こえないことがあります。
- ※モノラルイヤホンでは音声が聞こえないことがあります。
- ※イヤホン端子からヘッドホンや外部機器(スピーカー等)へ接続した場合に、音量が小さい状況だとノイズ(雑音)が聞こえることがありますが、仕様ですのでご了承ください。

BD/DVDの再生

ディスクの挿入と再生

1 ディスクカバーを開閉部を押します。

ディスクカバーが開きます。

2 ディスクをセットします。

ディスクのレーベル面を上にして、中央のディスクロックにカチッと音がするまではめ込みます。

※強く押し込まないでください。故障や破損の原因になります。

3 ディスクカバーを閉めます。

ディスクカバーを閉めると、画面上にディスクが回転するマークが表示された後、自動的に再生が始まります。

再生する



ポイント

- 一部のディスクでは、自動で再生がはじまらないものがあります。
その場合には【再生/一時停止】ボタンや【決定】ボタンを押すと再生がはじまります。
- メニュー画面から再生がはじまるDVDの場合は【メニュー】ボタンを押すとメニュー画面が表示されますので、【方向】ボタンで項目を選択して【決定】ボタンを押してください。
- BD、DVD、CDに共通の基本的な操作については、本ページからご覧ください。
- CDのみの操作については、30ページからご覧ください。

一時停止

再生中に【再生/一時停止】ボタンを押します。

再生が一時停止します。

もう一度【再生/一時停止】ボタンを押すと、再生が始まります。

停止

再生中に【停止】ボタンを押します。

再生中に【停止】ボタンを一度押すと、停止場面を記憶して停止します。この状態から【再生】ボタンを押すと前回停止した場面から再開します。

BD/DVDの再生(つづき)

早送り・早戻し

再生中に【早送り(早戻し)】ボタンを押します。

再生中に【早送り(早戻し)】ボタンを押すと、早送り(早戻し)再生が始まります。

各ボタンを押す毎に再生速度が5段階で切り替わります。

早送り(早戻し)再生中に【再生】ボタンを押すと通常速度の再生に戻ります。

前へ・次へ

再生中に【前へ(次へ)】ボタンを押します。

再生中に【前へ(次へ)】ボタンを押すと、一つ前(後)のチャプターやトラックに移動します。

メニュー画面へ移動

再生中に【メニュー】ボタンを押します。

再生中に【メニュー】ボタンを押すと、ディスクのメニューに移動します。

※ディスクによっては操作を受け付けない場合があります。

タイトルポップアップ

再生中に【タイトルポップアップ】ボタンを押します。

ボタンを押す毎にタイトルポップアップ表示と非表示を切り替えます。

※ディスクによって表示内容が異なります。

音量調整

【音量+/-】ボタンを押すと音量が調節されます。

0~100の間で音量を調節することができます。

消音

【消音】ボタンを押します。

【消音】ボタンを一度押すと消音状態になり、画面にが表示されます。この状態でもう一度【消音】ボタンを押すことで消音状態が解除されます。

字幕の切り替え

再生中に【サブタイトル】ボタンを押します。

再生中に【サブタイトル】ボタンを押す毎に、字幕の表示が切り替わります。

※字幕切り替えに対応していないディスクでは操作が無効になります。またディスクによってはタイトルやメニュー画面でのみ切り替えが可能です。

音声の切り替え

再生中に【オーディオ】ボタンを押します。

再生中に【オーディオ】ボタンを押す毎に、出力音声切り替わります。

※音声切り替えに対応していないディスクでは操作が無効になります。またディスクによってはタイトルやメニュー画面でのみ切り替えが可能です。

BD/DVDの再生(つづき)

アングル切り替え

再生中に【アングル】ボタンを押します。

再生中に【アングル】ボタンを押す毎に、再生アングルが切り替わります。

※アングル切り替えに対応していないディスクでは操作が無効になります。またディスクによってはタイトルやメニュー画面でのみ切り替えが可能です。

繰り返し再生

再生中に【リピート】ボタンを押します。

ボタンを押す毎に「チャプター繰り返し・タイトル繰り返し・繰り返し解除」の順に繰り返し方法が切り替わります。

※BD等ディスクによっては動作しない場合があります。

ズーム

再生中に【ズーム】ボタンを押します。

ボタンを押す毎に表示倍率が切り替わります。ズーム中は【方向】ボタンを押すことで表示位置を変更することができます。

※表示倍率は目安となります。
※ディスクや場面によっては操作を受け付けない場合があります。

画面ON/OFF

【画面ON/OFF】ボタンを押す毎に、ディスプレイの消灯または点灯が切り替わります。

サーチ

再生中に【サーチ】ボタンを押します。

画面上部にサーチウインドウが表示されます。タイトル番号、チャプター番号、タイトルまたはチャプター時間を指定し、場面の頭出しが可能です。

サーチウインドウ上での操作は【方向◀/▶】ボタンの項目の選択後、【決定】ボタンを押すと入力可能状態となります。【方向▲/▼】ボタンまたは【数字】ボタンで数値を入力後、【決定】ボタンを押すと指定した場面が頭出しされます。



①	タイトル番号を指定してサーチできます。
②	チャプター番号を指定してサーチできます。
③	タイトル時間またはチャプター時間を指定してサーチできます。

ブックマーク

再生中に【ブックマーク1】ボタンを押します。

ボタンを押す毎にブックマーク場面が保存されます。【ブックマーク2】ボタンを押すと保存されたブックマークの一覧が表示されます。【方向】ボタンを使って再生させたいブックマークを選び、【決定】ボタンを押すと保存された場面から再生が始まります。ブックマーク一覧で【消去】ボタンを押すと選択中のブックマークが消去されます。

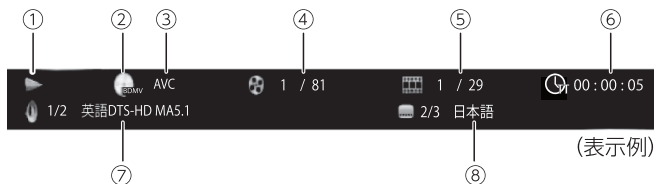
BD/DVDの再生(つづき)

再生情報の表示

再生中に【画面表示】ボタンを押します。

ボタンを押す毎に表示と非表示が切り替わります。主に再生ディスクの仕様や時間を表示させることができます。

- ①再生状態
- ②再生ディスク種類
- ③ビデオコーデック
- ④再生中のタイトル番号
- ⑤再生中のチャプター番号
- ⑥再生中のタイトルもしくは
チャプター経過時間
- ⑦音声言語
- ⑧字幕言語

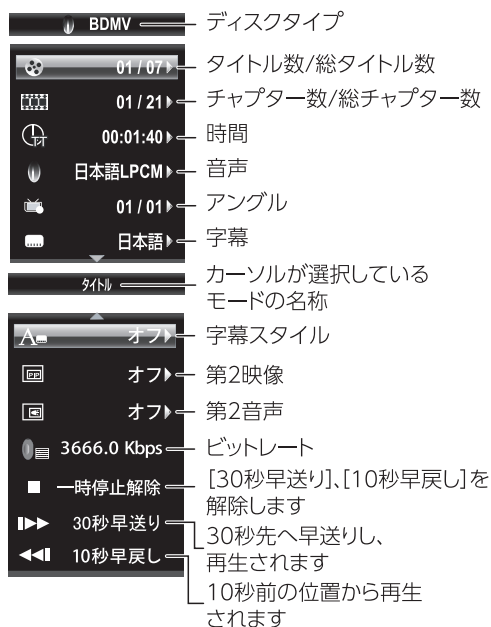


OSC(オンスクリーンコントロール)

再生中に【OSC】ボタンを押します。

ボタンを押す毎にOSC(オンスクリーンコントロール)の表示と非表示が切り替わります。主に音声や字幕、チャプター等再生に関する各種表示とその切り替えが可能です。

【方向】ボタンで選択後、切り替え可能な項目の端や上下に▶マークが表示されますので、対応する【方向】ボタンと【決定】ボタンを使って設定を切り替えてください。



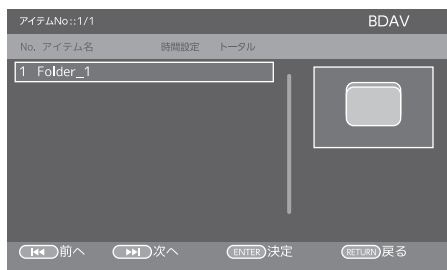
BD/DVDの再生(つづき)

録画したディスクを再生する

※製品のバージョンの違いや、再生するディスクにより表示画面のデザインが、図と異なる場合がございます。

1 録画したディスクをセットします。

録画したディスクを本製品にセットします。
ディスクのメニュー画面が表示されます。

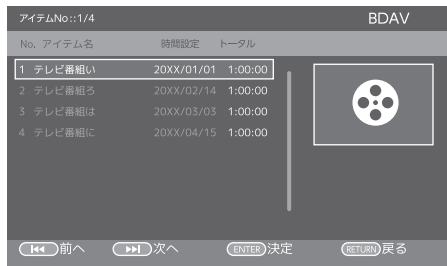


2 フォルダを選択します。

フォルダを選択して【決定】ボタンを押します。

3 タイトルを選択します。

タイトル一覧が表示されます。再生するタイトルを選択して【決定】ボタンを押します。
再生が開始されます。



録画ディスクのファイナライズについて

- CPRM (VRモード) 対応DVD-R/RWの再生はディスクがファイナライズ処理されている必要があります。ファイナライズされていないディスクは再生できません。
- ファイナライズの操作に関しては、録画した機器の説明書をご確認ください。

BD-LIVE

BD-LIVEについて

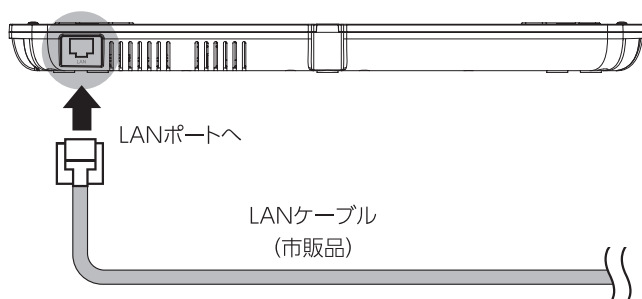
BD-LIVEとは、ブルーレイディスクソフトがネットワーク回線を使ってインターネットに接続する機能です。

ブルーレイディスクソフトには、BD-LIVEを使ってインターネット上のウェブサイトから各種のデータをダウンロードしたり、USBメモリーにデータを保存する機能を備えたものがあります。BD-LIVEを利用するには、本製品がインターネットアクセス用に設定されており、またUSBメモリーが挿入されている必要があります。

BD-LIVE用のUSBメモリーは、FAT32でフォーマットされている必要があります。

BD-LIVEの準備

- 1 インターネットに接続しているネットワークケーブルを、本体背面のLANポートに接続します。



- 2 【設定】ボタンを押して設定画面を表示させ、ネットワーク接続設定をします。

「基本設定」-「ネットワーク」-「IPアドレス設定」を開き、ネットワーク接続を設定します。

本書39ページの「基本設定」をご覧ください。

※通常はIPアドレス設定を[自動]に設定してください。

BD-LIVE(つづき)

BD-LIVEを使ったインターネットアクセス

操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書を確認してください。
ここでは、一般的な操作例を説明します。

1 外部メモリーとして、USBメモリーを本体右側面のUSBポートに挿入します。

- BD-LIVEを有効にするには、1GB以上の空き容量のある外部メモリーが必要です。
- BD-LIVE用のUSBメモリーは、FAT32形式でフォーマットされている必要があります。

2 BD-LIVEアクセス機能を持ったブルーレイディスクソフトを挿入します。

3 ディスクのメニューからBD-LIVEのオプションを選んで【決定】ボタンを押します。ディスクやウェブサイトの操作指示に従って、コンテンツをダウンロードします。

- ダウンロードしたコンテンツは、BD-LIVEストレージに自動作成される専用フォルダ内に保存されます。再生、削除などの編集はBD-LIVEコンテンツ内のメニューから行います。
- ダウンロードしたコンテンツは再生するか、削除するか選択できます。
- BD-LIVEストレージとして利用できるのは、本製品のUSBポートに挿入されたUSBメモリーのみです。ハードディスクは使用できません。
- BD-LIVEのコンテンツは、一定期間を経過すると閲覧の期限が切れたり、再生できなくなる場合があります。
- BD-LIVEストレージの空き容量を確保するため、定期的にBD-LIVEストレージ内のコンテンツを手動で削除する必要があります。
- ご使用のインターネット環境によって、BD-LIVEに接続できない場合があります。
- コンテンツのダウンロード先が外部メモリー(USB)に設定されているか確認してください。設定→[システム]→[BUDA]→[BUDA設定]の手順で、外部メモリーに○がついているか確認してください。

CDの再生

トラック番号を指定して再生

再生中にリモコンの【数字】ボタンを押して、移動したいトラック番号を指定します。
操作後、選択したトラックから再生が始まります。

繰り返し再生

再生中にリモコンの【リピート】ボタンを押します。

ボタンを押す毎に、以下の通り繰り返し方法が切り替わります。

「トラック(現在のトラックを繰り返し再生)」

↓

「オール(すべてのトラックを繰り返し再生)」

↓

「オフ(通常再生)」

※ディスクによっては、正しく動作しない場合があります。

外部メディアの再生

本製品では、外部メディア「SD(SDHC)メモリーカード」「USBメモリー」に保存したデータを再生できます。

※DVD再生画面でのみ外部メディアへ切り換えることができます。

再生可能ファイル

本製品では、以下のファイルが再生できます。

ファイル形式	記録内容
JPEG、GIF、PNG	画像
AAC	音声
AVI、MPEG	動画+音声

対応形式:H.264

■USBメモリーについて

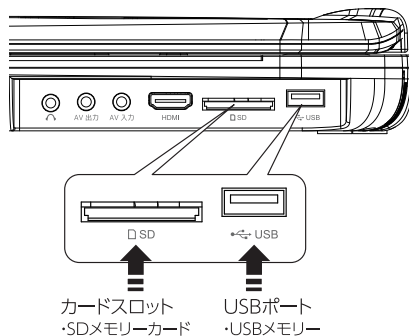
- 対応フォーマット:FAT32、NTFS
- USBバージョン:1.1/2.0

※BD-LIVE用のUSBメモリーは、FAT32でフォーマットされている必要があります。

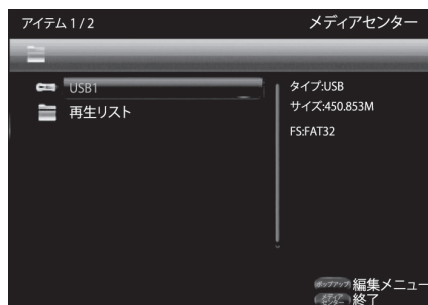
再生する

外部メディア再生

- 1 本体の電源を入れ、外部メディアを本体のスロットに差し込みます。



- 2 【メディアセンター】ボタンを押して、メディアセンター画面を表示します。
【方向▲/▼】ボタンで再生したいメディアを選び、【決定】ボタンを押します。



外部メディアの再生(つづき)

- 3
- 【方向▲/▼】ボタンで、再生したいデータの種類、フォルダ、ファイルを選び、【決定】ボタンを押します。



再生する

画像再生でできる操作

再生/一時停止ボタン	ボタンを押すたびに再生/一時停止ができます。
停止ボタン	スライドショーを停止します。
早送りボタン	スライドショーのスピードが速くなります。
早戻しボタン	スライドショーのスピードが遅くなります。
次へボタン	次の画像にスキップします。
前へボタン	前の画像にスキップします。
方向▲ボタン	表示画像の上下を反転します。
方向▼ボタン	表示画像の左右を反転します。
方向▶ボタン	表示画像が時計回りに回転します。
方向◀ボタン	表示画像が反時計回りに回転します。
ズームボタン	押すたびに表示の倍率が変わります。
リピートボタン	繰り返し再生ができます。押すたびに繰り返し再生の種類が変わります。 • シングルリピート 表示の画像を繰り返し再生します。 • オールリピート フォルダ内のすべての画像を繰り返し再生します。

画像・音楽・動画データの読み込み中や再生中に外部メディアを抜かないでください。
ファイルの記録状況によっては操作できない場合があります。

外部メディアの再生(つづき)

音楽再生でできる操作

再生/一時停止ボタン	ボタンを押すたびに再生/一時停止ができます。
停止ボタン	再生を停止します。2回押すとメディアセンターの画面に戻ります。
早送りボタン	早送りをします。押すたびに倍速が変わります。
早戻しボタン	早戻しをします。押すたびに倍速が変わります。
次へボタン	次の曲にスキップします。
前へボタン	前の曲にスキップします。
リピートボタン	繰り返し再生ができます。押すたびに繰り返し再生の種類が変わります。 • シングルリピート 再生中の曲を繰り返し再生します。 • オールリピート フォルダ内のすべての曲を繰り返し再生します。

動画再生でできる操作

再生/一時停止ボタン	ボタンを押すたびに再生/一時停止ができます。
停止ボタン	再生を停止します。2回押すとメディアセンターの画面に戻ります。
早送りボタン	早送りをします。押すたびに倍速が変わります。
早戻しボタン	早戻しをします。押すたびに倍速が変わります。
次へボタン	次の動画にスキップします。
前へボタン	前の動画にスキップします。
リピートボタン	繰り返し再生ができます。押すたびに繰り返し再生の種類が変わります。 • シングルリピート 再生中の動画を繰り返し再生します。 • オールリピート フォルダ内のすべての動画を繰り返し再生します。

外部メディアの再生(つづき)

再生リストの作成

お好みのファイルを集めて、再生リストを作ることができます。
※市販の音楽CDなどは再生リストの対象外です。

1 メディアセンター画面で、再生リストに登録したいフォルダ、またはファイルにカーソルを合わせます。

- ファイルにカーソルを合わせた状態で【方向▶】ボタンを押すと、チェックマークが付き、複数のファイルを選択することができます。選択を解除するには、もう一度【方向▶】ボタンを押します。
- フォルダを選択した場合、フォルダ内のファイル全てが選択されます。



2 【タイトルポップアップ】ボタンを押して、編集メニューを表示します。

リストに追加	選択しているファイル、またはフォルダを再生リストに追加します。
すべて選択	全てのファイル、またはフォルダを選択します。
すべて削除	全てのファイル、またはフォルダの選択を解除します。
キャンセル	編集メニューを終了します。



[リストに追加] を選択し、【決定】ボタンを押すと、手順①でチェックをしたファイルが再生リストに追加されます。

外部メディアの再生(つづき)

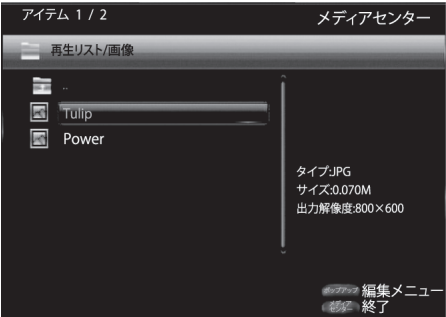
3 【方向◀】ボタンを何度か押して、メディアセンターのトップ画面に戻り、再生リストを開きます。



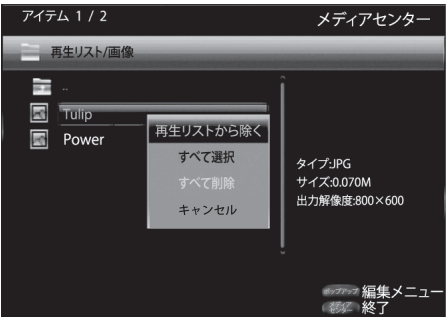
4 【方向▲/▼】ボタンで、再生したいデータの種類、ファイルを選び、【決定】ボタンを押します。

- 画像ファイル(JPEG)を再生した場合はスライドショーが始まります。

【タイトルポップアップ】ボタンを押すと、編集メニューが表示され、登録済みのファイルを編集することができます。



再生リストから除く	選択したファイル、またはフォルダを再生リストから削除します。 ※リストへの登録が解除されるだけで、ファイルは削除されません。
すべて選択	全てのファイル、またはフォルダを選択します。
すべて削除	全てのファイル、またはフォルダの選択を解除します。
キャンセル	編集メニューを終了します。



再生する

USBメモリー、SDカードの取り外し

- 1 【停止】ボタン押し、再生を停止します。
- 2 USBメモリー、SDカードを本体から取り外します。
取り外しは、必ず再生を停止している状態でおこなってください。

基本設定

- 1 停止中に【設定】ボタンを押して、設定メニューを表示します。

【方向◀/▶】ボタンで設定したい項目を選び、【方向▼】ボタンを押します。



- 2 【方向▲/▼】ボタンで項目内のメニューに移動し、【方向▶】ボタンを押します。



- 3 【方向▲/▼】ボタンで設定したい項目を選び、【方向▶】ボタンを押します。



- 4 【方向▲/▼】ボタンで設定を選び、【決定】ボタンで決定します。

設定変更が完了したら、【設定】ボタンを押して終了します。

※再生中には一部の設定ができません。ディスクの再生を完全に停止してください。再生を完全に停止するには、【停止】ボタンを2回押します。



基本設定(つづき)

システム

項目	説明
スクリーンセーバー	オンにすると、一定時間操作がなかった場合、画面焼けを防ぐ目的でスクリーンセーバーが作動します。
自動再生	オンにすると、ディスクを入れたとき自動的に再生を始めます。
設定初期化	設定を初期設定(工場出荷時の設定)の状態に戻します。視聴制限のパスワードは初期化されませんのでご注意ください。
アップデート	本製品では、アップデート機能は使用しません。
BUDA	BD-LIVE機能を利用するには、1GB以上の空き容量がある外部メモリー(USBやSD)を本機に接続します。外部メモリーには、自動的にBUDAという名前のフォルダが作られます。 [BUDA情報] BUDAフォルダの空き容量を表示します。[Format]を選ぶと、BUDAフォルダの内容を消去します。消去したデータは復元できません。 [BUDA設定] [外部メモリー]、[内部メモリー]、[SDカード]を選択できます。

設定を変更する

言語

項目	説明
表示言語	画面表示の言語を選択します。 英語または日本語から選択できます。
メニュー	ディスクメニューの表示言語を選択できます。
音声	ディスクに複数の音声記録されている場合は、希望の音声を選択できます。
字幕	ディスクに複数の言語が記録されている場合は、希望の字幕を選択できます。

※ディスクによっては設定通りに動作しない場合があります。

基本設定(つづき)

再生

項目	説明
アングルマーク	オンにすると、ディスクがアングル切り換えに対応している場合、切り換え可能な場面で画面上にアングルマークを表示します。
PIPマーク	オンにすると、ディスクが第2映像(ピクチャ・イン・ピクチャ)に対応している場合、切り換え可能な場面で画面上にPIPマークを表示します。
第2音声マーク	オンにすると、ディスクが第2音声(セカンダリーオーディオ)に対応している場合、切り換え可能な場面で画面上に第2音声マークを表示します。
ラストメモリー	オンにすると、ラストメモリーが設定され、ディスクを取り出しても次に再生したときに続きから再生されます。ディスクによってはラストメモリー機能が働かない場合があります。

設定を変更する

視聴制限

項目	説明
パスワード変更	視聴年齢メニューの操作に必要なパスワードを変更します。初期設定値は「0000」です。一度変更すると、初期設定値の「0000」は使用できなくなりますのでご注意ください。
視聴年齢	お子様に見せたくないソフトの再生を制限するレベルを設定します。(ペアレンタルコントロール対応のBD/DVDのみ) ※設定を変更するには、パスワードを入力してください。
国名コード	日本が設定されています。 ※設定は変更しないでください。

ネットワーク

項目	説明
インターネット接続	インターネットへの接続を有効、または無効に設定します。

基本設定(つづき)

ネットワーク

項目	説明
情報	IPアドレスやサブネットマスクなど、現在設定しているネットワーク情報を表示します。
接続テスト	インターネットへの接続状態をテストします。
IPアドレス設定	[自動] 自動的にネットワーク接続を設定します。自動で設定されない場合は[手動]を選択してください。 [手動] [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]、[DNS1、2]を設定します。 入力方法 1.【方向◀/▶】ボタンで、入力する項目を選びます。 2.【数字】ボタンで数字を入力します。 内容を消去するには、【方向▼】ボタンを数回押します。 3.すべての入力が終わるまで、手順1・2を繰り返します。 4.すべての入力が終わったら【決定】ボタンを押し、入力した内容を保存します。 ※入力が完了したら、[接続テスト]の項目を選んでネットワークに接続できるかテストしてください。
BD-LIVE接続	BD-LIVEによるインターネット接続を設定します。 [許可] 挿入されたディスクが、すべてのBD-LIVEのインターネットサイトのコンテンツにアクセスするのを許可します。 [部分的に許可] 挿入されたディスクが、有効なオンライン証明書のあるBD-LIVEウェブサイトのコンテンツをダウンロードするときのみアクセスを許可します。 [禁止] 挿入されたディスクが、インターネットでBD-LIVEコンテンツにアクセスするのを禁止します。
プロキシ設定	プロキシを設定します。有効を選ばると、プロキシホスト、プロキシポートの設定ができます。

設定を変更する

映像設定

映像

項目	説明
表示サイズ	[16:9フル] ワイドサイズの画面です。4:3画面の映像は画面全体に引き延ばして表示します。 [16:9通常] ワイドサイズの画面です。4:3画面の映像は左右に黒い帯が出ます。 [4:3パンスキャン] 従来サイズの画面です。ワイド画面の映像は一部分をカットして、画面全体に表示します。 [4:3レターボックス] 従来サイズの画面です。ワイド画面の映像は上下に黒い帯が出ます。
解像度	本機から出力する映像の解像度を設定します。 ※HDMIケーブルを使用して接続するときは、出力解像度を接続する機器に合わせて設定してください。 ※表示がおかしいときは、手動で出力解像度を設定してください。 ※AVケーブルでの接続時は出力解像度を480iに設定してください。
HDMI 1080p 24Hz	BD再生時にHDM映像出力を1080p 24Hzの方式で出力します。お使いのテレビに合わせて設定してください。 [オン] 1080p 24Hzで収録されているBDの映像をそのまま出力します。 [オフ] 通常的方式で映像を出力します。

映像設定(つづき)

映像処理

項目	説明
画質調整	以下の項目の画質を調整します。 • 明るさ • コントラスト • 色合い • 色の濃さ 【方向▲/▼】ボタンで項目を選択し、【方向◀/▶】ボタンで調整します。

音声設定

音声出力

項目	説明
HDMI	接続されたオーディオ機器に合わせて、HDMI音声端子から出力される音声の方式を設定します。 [ビットストリーム] デジタル音声信号がそのまま出力されます。 [PCM] デジタル音声信号がPCM(2ch)の音声信号に変換されて出力されます。 [オフ] HDMIからの音声出力をオフします。

システム情報

システム情報

ソフトウェアのバージョン、MACアドレスが表示されます。

設定を変更する

困った時は

故障かな?と思ったときは、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、一度本体の電源スイッチをOFFにしてから、再度起動してみてください。

それでも正常に作動しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。

(各項目の詳細は、この説明書の対応する項をお読みください)

症状	考えられる原因・確認事項
製品本体が作動しない	製品本体の主電源は入っていますか? ACアダプターは接続されていますか? 製品本体の電源LEDが点灯していない場合は下記の項目をご確認ください。 ・製品本体の電源スイッチがONであること ・電源が正しく接続されていること ・内蔵バッテリーに十分に充電されていること
ディスクが再生できない	ディスクに傷や汚れがないことをご確認ください。
	ディスクのリージョンコードが本製品と合っていない可能性があります。リージョンコードの合わないディスクは再生することができません。
	ディスクの表裏を逆にセットしていませんか? 印刷のある面が上になるようにディスクトレイにセットしてください。
	視聴制限機能が作動している可能性があります。ディスクの視聴制限の有無と、本製品の設定をご確認ください。
	本製品を寒い場所から急に暖かい、または湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。電源コードを抜いて、本製品の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか?本製品の使用環境は5℃～35℃です。

困った時は(つづき)

症状	考えられる原因・確認事項
ディスクが再生できない(つづき)	DVD±R/RW/±R DLディスクの場合は、ディスクに「ファイナライズ」という処理を行わないと再生できません。ファイナライズの行い方については、ディスクに録画を行ったDVDレコーダーやパソコンなどの取扱説明書をご確認ください。
	ディスク固有の問題の可能性があります。他のディスクが再生できるか試してみてください。

※作成したディスク(CPRM記録ディスクなど)を再生すると、当製品との相性により基本的な操作が正常に機能しない場合があります

症状	考えられる原因・確認事項
本製品がリモコンの操作に反応しない	画面に②のアイコンが表示される場合は、無効な操作をしているか本製品がビジー状態になっている可能性があります。
	リモコンの電池が切れていませんか？ 新しい電池に交換してみてください。
	リモコンの発信部と本体リモコン受光部の間に信号を遮るものがないよう注意してください。
	製品本体の主電源は入っていますか？ 製品本体の電源LEDが点灯していない場合は下記の項目をご確認ください。 • 製品本体の電源スイッチがONであること • 電源が正しく接続されていること • 内蔵バッテリーに十分に充電されていること
	製品本体前面の受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンがうまく作動しない場合があります。光があたらないようにするか、リモコンの角度を変えたり、受光部に近づいて操作してください。

困った時は(つづき)

症状	考えられる原因・確認事項
画像・音声 that 乱れる、出ない	製品本体の主電源は入っていますか？
	リモコンの【画面ON/OFF】ボタンを押して反応をご確認ください。
	ディスクに傷や汚れがないことをご確認ください。
	ディスクは正しくセットされていますか？
	本製品の設定が正しく行われていることをご確認ください。
	電波を発生する機器の近くで使用していませんか？
	本製品を寒い場所から急に暖かい、または湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。電源を抜いて、本製品の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか？ 本製品の使用環境は5℃～35℃です。
	消音になっていないかご確認ください。 (リモコンの【消音】ボタンを押してみてください)
	音量がゼロになっていないかご確認ください。

困った時は(つづき)

症状	考えられる原因・確認事項
アングル切り換えができない	再生しているディスクに、複数のアングルが記録されていない可能性があります。
音声の切り換えができない	再生しているディスクに、複数の音声記録されていない可能性があります。
字幕の切り換えができない・消せない	再生しているディスクに、複数の字幕が記録されていない可能性があります。
テレビ・AV機器接続時に画像・音声が入乱れる・出ない	本製品の出力端子と、接続している機器の入力端子が正しく接続されていることをご確認ください。
	テレビのチャンネルは本製品からの入力に合っていますか？ テレビの取扱説明書をご確認ください。 (多くのテレビではビデオ、ビデオ1、AUX In、Video In、AV Inなどのチャンネルがビデオ入力です)
	本製品やテレビの画面や信号に関する設定をご確認ください。
	ケーブルにゆるみなどが無いことをご確認ください。
4:3PS表示ができない・切り換えができない	4:3PS(パンスキャン)はディスクに4:3PSサイズで収録されている映像を表示するための機能です。16:9サイズの画像を強制的にPS表示(画面の左右をカットなど)にしてしまう機能ではありません。ディスクのパッケージにPS(パンスキャン)表記があるかご確認ください。

製品仕様

製品名		13.3インチ ポータブル ブルーレイプレーヤー
品番		BDP-1331B
液晶パネル	ディスプレイ	13.3inch
	解像度	1366x768
対応再生ディスク		BD、BD-R、BD-RE、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW
対応再生メディア		CD-R、CD-RW、VCD、SD、SDHC、USBメモリ
対応ファイル フォーマット	動画(コーデック)	MPEG1、MPEG2、MPEG4 AVC
	静止画	JPEG、PNG、GIF
	音声	DOLBY DIGITAL、DOLBY DIGITAL Plus、 DOLBY TrueHD、DTS
入力端子		AV端子×1
出力端子		HDMI×1、AV端子×1、Φ3.5mmミニプラグ×1、
その他端子		SDカード×1、USB×1、Ethernet×1
電源	ACアダプター	入力:AC100V 50/60Hz、出力:DC12V 2A
	DCアダプター	入力:DC12V、出力:DC12V 2A
消費電力		20W (Max)
バッテリー	種類	リチウムポリマーバッテリー、7.4V、4000mAh
	駆動/充電時間	約3時間 / 約3時間
本体サイズ(WHDmm)		364×43.5×272
重量		約1.8kg
付属品		ACアダプター、DCアダプター、リモコン
動作環境	周囲温度	5℃～35℃
	周囲湿度	25%RH～80%RH(結露なきこと)
動作環境		中国

- ・仕様および意匠外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

商標について

Blu-ray Disc™、Blu-ray™、BONUSVIEW™、BD-LIVE™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。

“DVD ロゴ”はDVD フォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

For

DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. ©DTS, Inc. All Rights Reserved.

Cinavia

Notice This product uses Cinavia technology to limit the use of unauthorized copies of some commercially-produced film and videos and their soundtracks.

When a prohibited use of an unauthorized copy is detected, a message will be displayed and playback or copying will be interrupted. If playback or copying is interrupted and one of the messages shown below is displayed, the content is an unauthorized copy protected by Cinavia technology.

Message	Cinavia Message Code
[Message(s) 1]	1
[Message(s) 2]	2
[Message(s) 3]	3
[Message(s) 4]	4

More information about Cinavia technology is provided at the Cinavia Online Consumer Information Center at <http://www.cinavia.com>. To request additional information about Cinavia by mail, send a postcard with your mailing address to: Cinavia Consumer information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA.

IPR Message

Copyright 2004-2013 Verance Corporation. Cinavia™ is a Verance Corporation trademark. Protected by U.S. Patent 7,369,677 and worldwide patents issued and pending under license from Verance Corporation. All right reserved.

保証規定

本保証規定は以下に記載されている保証内容に基づき、保証期間内に生じた故障・破損に対して無償で対応することを保証するものです。

取扱説明書に記載されている内容や、製品本体に貼付のラベル等の指示に沿って使用した状況下で生じた故障・損傷・破損に対して保証致します。

保証書の所定記入欄に記入漏れや、事実と異なる内容が記載されている場合は保証の対象外となります。

保証書は日本国内でのみ有効です。また、再発行はできませんので大切に保管してください。

〈保証期間内であっても、以下の場合には保証対象外とさせていただきます〉

- 1 保証書のご掲示がない場合。
- 2 保証書を紛失された場合。
- 3 保証書にあるご記入欄に書き換えや、書き加えがある場合。
- 4 保証書の所定記入欄や販売店記入欄に空欄がある場合。
- 5 お買い上げ後の輸送時や移動時に落下させていた等、その他不適当なお取り扱いによって製品に故障・損傷・損失が生じた場合。
- 6 盗難・置き忘れ、並びに詐欺等によって故障・損傷・損失が生じた場合。
- 7 取扱説明書や製品貼付ラベルに反した取り扱いによって故障・損傷・損失が生じた場合。
- 8 火災・地震・水害・落雷等の天災や天変地異によって故障・損傷・損失が生じた場合。
- 9 ガス害や塩害等の公害や、異常電圧等によって故障・損傷・損失が生じた場合。
- 10 消耗・カビ・腐食・変色等の自然に起こる現象によって、製品が故障・損傷・損失が生じた場合。
- 11 製品の改造や部品交換等(使用者の責任と認められる状況)によって故障・損傷・損失が生じた場合。
- 12 国、または公共団体の公権力の行使、ならびに内乱・武力行使等の状況で本製品が故障・損傷・損失が生じた場合。
- 13 ハードディスク・CD・DVD・BD・USBメモリー・SD等のメディアやデータの損傷・破損、ならびにそれらに起因する機会損失や逸失利益等に対する保証をすることはできません。
- 14 電池やケーブル等の消耗品の交換や返品は一切対応できません。また、接続機器やソフトウェア間で生じるトラブルは一切保証することができません。
- 15 製品の使用、または使用不可能から生じた事業利益の損失、事業の中断や情報の損失、またはその他の金銭的損害等の被害に対しては一切の責任を負えません。
- 16 本保証書は、以上の条件に基づき、本製品に対する保証をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 17 本製品はご家庭や個人で楽しむためのものです。業務用としてご使用になられた場合は保証することができません(例:24時間以上、連続で稼働させ続ける等)。

保証書

保証期間中に万一、故障が発生した場合は、お客様相談窓口へ保証書を添えてお問い合わせください。保証書は再発行をいたしませんので、紛失などのないよう大切に保管してください。

保証書は保証規定に基づき、本製品に対して保証をおこなうことを目的としており、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証書は日本国内でのみ有効です。

保証規定

1. 保証対象

- 保証期間内に取扱説明書および本体ラベル等に従った正常な使用で故障した場合に無償で交換、修理させていただきます。
- 消耗品および添付品は保証の対象外になります。

2. 保証期間であっても以下の場合には保証の対象外になります。

- イ) 保証書に記入漏れのある場合
- ロ) 使用上の誤り(取扱説明書に反した使用)による故障、損傷
- ハ) お取り扱いの不注意(落下、衝撃、機器内部に水、異物などが流入など)、手入れの不備(かび、腐食、変色、ちり、ほこりなど)、長期使用での消耗による故障、損傷
- ニ) 火災、地震、水害、落雷などの天災や天変地異、ガス害や塩害などの公害や異常電圧などによる故障、損傷
- ホ) 分解、改造、弊社以外での修理による故障、損傷
- ヘ) 一般家庭用途以外での用途(業務用の過度な連続使用など)、環境(温度、湿度、振動など)による故障、損傷
- ト) 自然摩耗および自然劣化により消耗部品が損耗し取り換えが必要な場合
- チ) その他、保証が認められない事由が発覚した場合

免責事項

- 弊社が関与しない修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、ご送付の際の送料や諸経費はお客様のご負担となります。
- 本製品の故障に起因する損失や直接、間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。

●保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お客様相談窓口までお問い合わせください。

お買い上げ年月日		保証期間
年 月 日		お買い上げから1年
品 番	BDP-1331B	
お名前	フリガナ	
ご住所	フリガナ	
	〒 TEL() -	
お買い上げ店		

本製品のお問い合わせ先

お客様相談窓口

 **03-6435-9453**

受付時間 **10:00～17:00**

月曜日～金曜日の弊社営業日
(土日、祝日を除く)

A-stage

株式会社A-Stage

【本 社】〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館2F

【商品管理センター】〒349-1117 埼玉県久喜市南栗橋4丁目14番地1号
南栗橋シティセンタービル3F